

おもて倶楽部

No.180 令和5年3・4月号
 発行日 令和5年3月1日
 発行者 税理士法人表会計事務所

「生産性の向上こそ変化への備え」

先日の報道で2022年の日本国内の出生数は前年比5.1%減となり80万人を下回ったとありました。ちなみに、私が生まれた1972年の出生数は200万人超であり、子供の数は昔の4割程度という状況です。

いわゆる団塊の世代や私のような団塊ジュニア世代が人口のボリュームゾーンとなり国内の経済規模はそれなりに維持されていますが、市場に参入する新たな働き手は年々減少しているわけで、人出不足・採用がままならないというのも、まあ当然と言えますよね。

そのような状況下で中小零細企業では従業員の高齢化という傾向が顕著になっているように思われます。

新聞で連日のように大企業の賃上げが発表されていますが、物価高への対応もさることながら、人材獲得競争の側面がより大きいのではと推測されます。

賃金が増えることは良いことですが、生産性の向上（一人当たりの粗利益の向上）が伴わなければ、タコが自分の足を食べるようなもので未来がありません。

給与が先か、仕事が先か、考え方は人それぞれでしょうが、いずれにしても企業に働く人の所得水準の向上が事業の継続には必須なことではないでしょうか。

簡単なことではありませんが、生産性の向上に継続的に取り組んでいきたいものです。

（所長：税理士 本野 智之）



令和5年度
税制改正大綱より

消費税インボイス制度関係の改正について

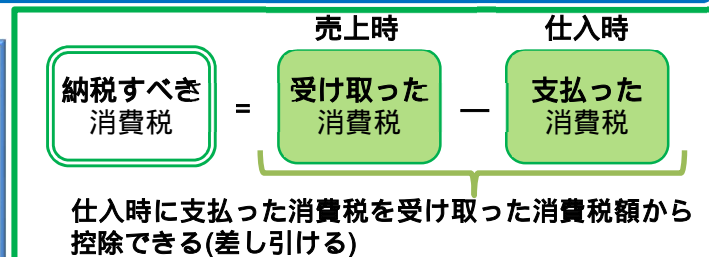
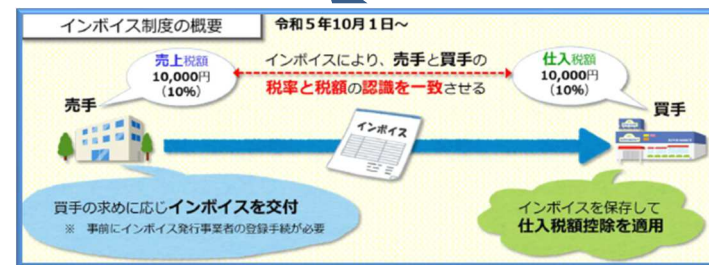
前回は引き続き、令和5年度税制改正大綱の中から今回は令和5年10月1日から開始される消費税インボイス制度について影響があるとみられる改正についてご紹介致します。

図は、国税庁、財務省パンフレットより

制度のおさらい

Q1.インボイス(適格請求書)って何?

A1. 売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額を伝えるものです。具体的には登録番号や適用税率など一定の記載事項を満たした請求書や領収書、レシートのことを指します。



Q2.仕入税額控除って何?

A2. 売上に係る消費税額から仕入等に係る消費税額を差し引いて税額を計算する仕組みを仕入税額控除といいます。令和5年10月より、仕入税額控除の適用を受けるためにインボイスの保存が必要となります。

令和5年度税制改正によりどのように変わったのでしょうか?

小規模事業者等に対する緩和措置が設けられることとなりました。

改正① 一定規模以下の事業者に対する事務負担の軽減措置（少額特例）

1万円未満の課税仕入について、インボイスの保存がなくとも帳簿のみの保存で仕入税額控除が可能になります。

対象者 基準期間（前々年又は前々事業年度）
 における課税売上高が1億円以下である事業者
 適用期間 令和5年10月1日から令和11年9月30日まで



改正② 小規模事業者に対する納税額に係る負担軽減措置（2割減額特例）

免税事業者がインボイス発行事業者となったこと又は課税事業者選択届出を提出したことにより免税点制度の適用を受けられないこととなる場合には、負担軽減を図るため、納税額を売上に係る消費税額の2割に軽減されることとなります。

対象者 免税事業者からインボイス発行事業者となった事業者
 適用期間 令和5年10月1日から令和11年9月30日まで
 （個人事業者は、令和5年10～12月の申告から令和8年分の申告まで対象）

改正③ 少額な返還インボイスの交付義務の見直し

事業者の実務に配慮して事務負担を軽減する観点から少額な値引き等（1万円未満）については、返還インボイスの交付は不要となります。

対象者 すべての事業者 適用期間 適用期限なし



担当者より
 いよいよ今年の10月から始まるインボイス制度。10月の導入に向けて、何をすべきなのか今一度整理してみましょう。詳細は各担当者にお問い合わせください。（担当：林 宏紀）

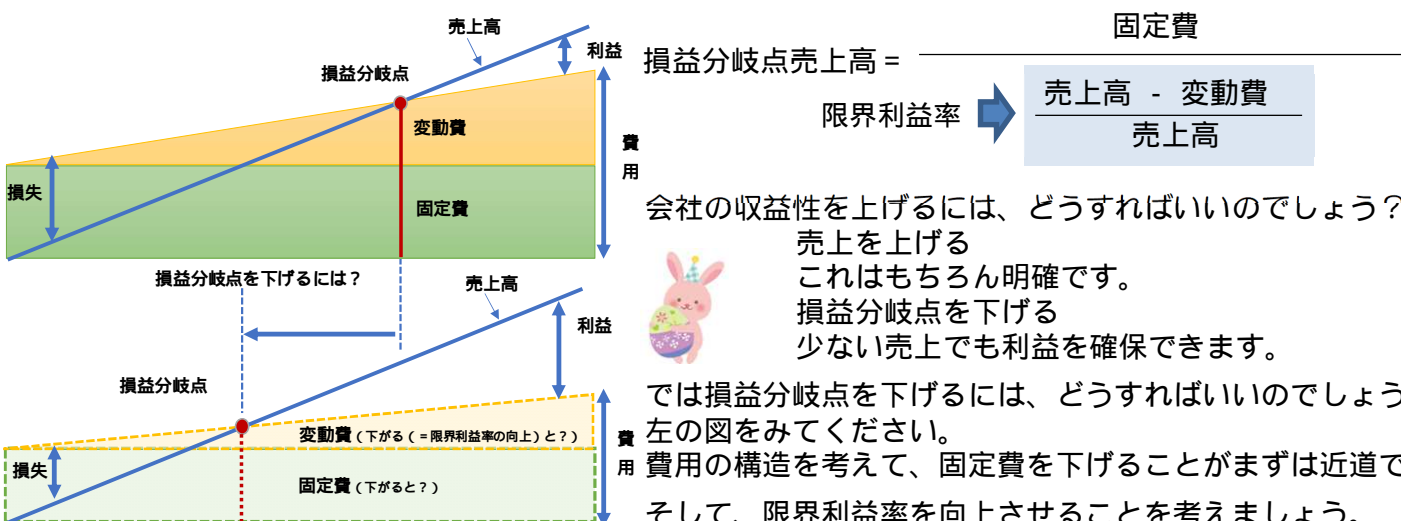
決算書の読み方

第8回

収益性の分析「損益分岐点」と「費用の内訳」

収益性を考える上で欠かせないのが「損益分岐点」です。会社の利益は売上と費用によって変動します。費用には、売上に伴って増減する変動費と売上にかかわらず一定に発生する固定費があります。売上から変動費を差し引いたものを限界利益(粗利益)といい、限界利益が固定費を上回ると会社に利益が残ります。その転換点（限界利益と固定費が同額の状態）が損益分岐点です。

損益分岐点売上高とは、会社の利益がトントンとなる売上高（限界利益と固定費が同額）をいい、下記の算式で算定されます。自社の損益分岐点売上高を意識することは非常に重要なことです。



今回は、金沢市福久にあります「三宅医院」さんをご紹介します。イオン金沢店のすぐ近くであり、診療科目は内科、特に呼吸器、アレルギーの専門医として他県から診察を受けに来られる患者さんもいらっしゃるそうです。先生ご自身が喘息を患った経験がありとのことで、患者さんの気持ちがわかるためその気持ちに寄り添った診察をされていらっしゃるからなのでしょうね。



診療科目：内科、アレルギー科

アレルギー性疾患

アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アトピー性皮膚炎、じんましんなど。当院ではこれらの疾患の診断、治療及び管理には特に力を入れており、患者さん一人おひとりと充分にお話させていただき、「アレルギーの無い人と同じ生活」を目標として診療を行っております。

急性疾患

風邪、気管支炎、胃腸炎などの急性疾患などの診断、治療に力を入れております。入院が必要な際には、近隣の病院としっかりと連携を取り、できる限り迅速に対応しております。患者さまが「少しでもより早くより元気に」と願っております。

先生より一言を
お願いしました



三宅 靖 先生

地域医療に貢献できるようにとこの地に開院して、早22年が経ちました。

当初の志を忘れることなく、今後も気力、体力がつづくかぎり、がんばりたいと思っております。



スタッフの皆さん

生活習慣病

糖尿病、高血圧症、高脂血症など。治療としてやはり生活習慣の改善が重要です。この場合も当然患者さんの社会的、家庭的な立場も熟慮して、患者さんと一緒に「健康的で価値を見出せる人生」を考えていきたいと思っております。

最近の喘息治療

以前の喘息治療は発作時の気管支拡張療法が主体でした。つまり、苦しくなったときにその都度薬を使うといったものです。現在では喘息は『気道の慢性のアレルギー性炎症』が病気の主体と考えられるようになりました。

このため治療方法も大きく変化し、発作の予防効果が強く副作用も少ない炎症を抑える副腎皮質ステロイドの吸入薬が多く使われるようになってきています。今では『苦しくなってからのみの治療』から『発作の予防を行いよりよい生活を送る』へと治療目標が変わってきています。当院でも、アレルギーの原因物質をできるだけ遠ざける生活習慣を、患者さんと一緒に考えながらしっかりと吸入の指導を行い、必要に応じて他剤との併用も考慮して『喘息がない人と同じ生活』を治療目標と考え日々の診療にあたっています。

三宅医院

住 所：金沢市福久1丁目95
TEL：076-257-7600
診察時間
9:00～18:00 受付
土曜日は16:00まで
休診日
水曜・日曜・祝日

担当者より 先生をはじめ、スタッフの皆様の優しいお人柄がしみ出る、素敵な三宅医院さん。お一人おひとりに寄り添った治療やケアをご提供してくれますので、上記のような病気でお悩みの方は是非、三宅医院さんへお越しください。(担当者：林 宏紀)

○日曜日・祝祭日 ○表会計休業日

Calendar for March with tax and business events marked.

- 10日 源泉所得税の納付(毎月)
15日 所得税確定申告 申告期限
31日 1月決算法人の確定申告
7月決算法人の予定・中間申告
個人消費税の確定申告

Calendar for April with tax and business events marked.

- 10日 源泉所得税の納付(毎月)
5/1 2月決算法人の確定申告
8月決算法人の予定・中間申告
固定資産税(金沢市)第1期納付

連載中

励ましと自省の言葉

会長(表征史)の連載です。今回は、前後編2回の前編となります。

稲盛和夫氏より教えられたこと

稲盛和夫氏、令和4年8月24日 90歳で逝去されました。その方のカセット集、講和集から学んだことを書かせていただきます。稲盛和夫氏は京セラ(プレミアム上場企業 1.8兆円売上高)を27才で創業、KDDIを設立、日本航空の再生を78歳で引受け3年で再建し、再上場した戦後の名経営者の一人とされています。2002年に盛和塾を主催し、中小零細企業の経営者の育成に尽くし、中国にも盛和塾を請われて開設された経営者です。

私も16年前に「稲盛和夫 経営講和全集」16巻プラス3巻のカセットを購入し、車の中で何度も何度も熱心に聞き、人間に対する深い洞察力、正しい人間の生き方への真剣な向き合い方、そして企業経営の壮絶な競争社会を、ど迫力の情熱をもって成功に導いた人間力に大きい感銘を受けた一人です。以下、雑誌「致知」12月号 追悼 稲盛和夫特集より文の紹介です。()内は私見です。

1. 人生の目的とは魂を磨くこと

①人間は本来、「真善美」を求めると言われています。「真」とは正しいことであり、「善」とは善きことであり、「美」とは美しいものです。人間はこれら三つのものを探求する心を持っています。それは人間そのもの自体が真善美と云う言葉で表現できる美しい真我、魂を持っているからであろうかと私は思っています。

しかし、そのように考えて心を磨こうと思っても、実際にはなかなかうまくいかないのが人間です。善き思いを抱こうと思っても、「儲かるかどうか」「自分にとって都合がいいか悪いか」といったくだらない思いでつつい行動にしてしまうのが人間という、ものです。そうした悪しき思い(気づかないといけません)が出てきた時には、その思いをモグラ叩きのように叩き抑えていくことが重要になります。そのようにして日々反省していくことが、心を磨くために不可欠なことだと私は思っております。

いつも自分の心の中に善い思い、優しい美しい思い出が出てくるように、もし邪なものが出てきた時には「こらっ」と言って自分で怒って、それを抑えていく。それは毎日毎日、あたかも賽の河原の石を積むようなものかもしれませんが、高く積めないかもしれませんが、毎日そういう努力をしていくのが尊いのではないかと私は思っています。(会長：税理士 表 征史)

前編